

「好き」を「強み」に、強みを「仕事」にする。

 文化学園大学・短期大学部

就職内定報告 2019

服装学部
ファッション社会学科 **4**年

広島県 / 県立呉宮原高等学校 出身

内定企業

株式会社 トゥモローランド / 総合職

事業内容：ウイメンズ・メンズウェア、服飾雑貨、アクセサリ
などの企画、生産、販売、卸売、輸入業務、飲食店の経営

「服づくりだけではないファッション」の仕事がしたい

高校生の頃から将来は大好きなファッションに関わる仕事がしたいと思っていました。その中でもよく読んでいたファッション誌がきっかけで、プレスやバイヤーといった「服づくりだけではないファッション」の仕事を知り、興味をもつようになりました。日本のファッションの中心地である東京で勉強したいと思ったこと、そしてプレスやバイヤーになるためには服づくりの技術ではなく、幅広くファッションを学んだほうが良いのでは、と思いファッション社会学科に進学を決めました。



就職活動で使用したノートです。各社の研究や、インターンシップ・説明会に参加するときは、このノートにたくメモしていました。



学内外でファッション業界の学びを深める

ファッション社会学科での学びは座学が多いのですが、その中でもアパレル業界にかかわる講義などは他大学と比べても格段に多く、学んでいく中で知識が身についていたことを実感。インターンシップ先で他大学の学生と一緒にグループワークをする機会がありましたが、社員の方から専門用語を交えた説明をされた時などに理解のスピードの違いを感じました。また、就職活動が本格化する前には、裏原宿にあるスポーツブランドのセレクトショップでアルバイトを始めました。もともとセレクトショップ販売員の方の知識量とレベルの高い接客に魅力を感じていたこともあり、学生のうちに経験を積みたいと思ったことがきっかけです。大学での学びと、インターンシップやアルバイト先での実践の双方を経験できたことが、自分の好きなことを仕事にするという道につながったと感じています。

夢のスタート地点で

内定をいただいた㈱トゥモローランドでは、社員がやりたいという思いが実現できる会社をめざす、という理念を持っていることが魅力的でした。総合職での採用ですが、店舗での販売を担当し、しっかり現場を把握することからのスタートになります。まずは私がセレクトショップに憧れるきっかけになった、レベルの高い接客をめざします。当初はプレスやバイヤーの仕事にあこがれてこの世界に飛び込みましたが、大学生活の4年間で多様な職種を知ったことで、今では幅広く、さまざまな仕事に興味を持つようになりました。これからのキャリアアップを通じて、自分がやりたい仕事、自分の能力を一番生かせる仕事を見つけていきたいと思っています。



文化学園大学ホームページ
<https://bwu.bunka.ac.jp/>